

岩手県岩泉町で一般貨物運搬事業などを展開する岩泉自動車運輸(株)の八重樫義一郎代表取締役会長・社長と、幹部人材紹介や事業承継などを支援するヒューレックス(株)(仙台市青葉区)の浅野有史執行役員、金融機関サポートセンター長が対談。将来の後継者のサポート役となる幹部人材を採用するに至った経緯について話を聞いた。

浅野 御社の事業内容についてご説明ください。

八重樫 岩泉や宮古地域を中心に戦前から続く運送業が母体で、祖父が2代目社長を務めておりました。地域の産物輸送を主な業務に、当時から郵便輸送も仰せつかり、現在も継続しております。

現在は車両数80両、人員約80人で、盛岡、北上、宮古に営業所を置き、岩泉本社を含め4事業所体制で、岩手県内を中心に八戸から仙台まで、また一部関東方面への輸送にも携わっています。出発点は地域の産物を輸送すること。そして地域に産物を持つてくることが大切な業務と捉え、しっかりと地域に貢献すること。それが脈々と受け継がれ

てきたわれわれの一つの遺産でもあります。

浅野 弊社は、260を超える地域金融機関と連携し、地域の中小企業の中途採用支援を行い、おかげさまで、今年創業20周年を迎えることができました。今回、北日本銀行さんからのご紹介で、岩泉自動車運輸様より私どもに求人のご依頼をいただき、幹部人材として採用いただき、というご縁につながりました。

その経緯をお聞かせください。
八重樫 エネルギー関連業務を行うグループ会社の「働き手不足」を解消したいと考えていたところ、北日本銀行さんから御社をご紹介いただき、採用することができました。ほかにもグループ会社があ

るため、弊社において

は私が会長となり、社長を別な者に預けていたのですが、退任を希望したため、現在は私が社長を兼務している状況です。当然のことながら日常業務を全てカバーすることはできないため、幹部人材を早急に探す必要があります。また長男が3年前に戻り事業承継というタイミングを迎えつつあるのですが、本人はまだまだ未熟。そこで、しっかりとサポートしてくれる人材の獲得が喫緊の課題となりました。さらに運送業界には2024年問題があり、新しい時代を迎えるにはDX導

入なども重要課題となるため、そうした点にも精通した



ヒューレックス(株)
執行役員、金融機関サポートセンター長

浅野 有史 氏

あさの・ゆうし 1963年生まれ。宮城県石巻市出身。東北学院大学卒業後、山一証券(株)入社。未公開企業の上場支援などを行う。その後、ヒューレックス(株)金融機関サポートセンター長。マリッジ(株)しあわせ部長を兼務。

経験の有無より人物像に着目

浅野 事業承継は、数多くの企業が抱える喫緊の課題の一つです。後継者がいない、後継者はいるが若い、後継者候補としての婿養子を探してほしいなど、さまざまな課題が弊社に寄せられています。

弊社では、「事業承継トリプルサポート」をご用意し、ワンストップで事業承継問題の課題解決のお手伝いをしています。特に、経営者のご息が戻られてから事業承継に至るまで時間を要することが多く中継ぎ役となる人材の相談が増えています。即戦力としても活躍いただきながら、後継者となる方が一人前になる

までサポート役を務める、というニーズが非常に多くなっています。今回、採用につながったポイントは何でしたか。
八重樫 本来であれば業界経験が大きな要点になるのだと思います。しかし、大きな時代の転換点にきています。昔のやり方にこだわらず、新しい業務の仕組みを取り入れることも重要だと考えました。結果的に、幅広い分野の中から最適な人材をご紹介いただくことができました。今回採用した方は運送業界への直接的な関わりがなく、ポイントになったのは長く地域おこしに関与されてきたという

幹部承継

北日本銀行と連携し、業界未経験者を幹部に採用 キーワードは「地域貢献」

岩泉自動車運輸(株) 代表取締役会長・社長 八重樫義一郎氏

点です。東日本大震災後は三陸エリアの地域おこしに積極的に取り組むなど、地域に対する意識を強く持っています。それは、地域に根づき地域を支えていくという弊社の考え方も一致します。そこにお互い共感できたのかなと思います。

浅野 今回、弊社の人材紹介サービスを活用し、幹部人材を採用いただきました。その点についてはいかがでしょうか。

八重樫 実は、東京を拠点にした人材紹介会社からいろいろなおアプローチがありまし

たが、我々に良かった点は御社が地元企業に一番力点を置いている点です。ご紹介いただいた方とは、東北という共通の文化的背景があったからか、会話はとてもスムーズで、最初から本音で話すことができました。結果としてスピーディに物事を進めることができ、とても感謝しています。

浅野 私どもも地元を良くしたいという気持ちが強くなったかと思っております。現場

「経営幹部」が特に必要な人材

地域に馴染みのある社員が営業を担当させていただきました。私共は、求職者と企業の仲人役としてお互いの想いをお伝えすることを大事にしていますので、一過性の紹介にとどまることなく、中小企業の成長や発展にも寄与したいと思っています。今後、御社の人材に関する戦略はいかがでしょうか。

八重樫 非常に難しいポイントだと思っております。現場でコントロールする人も、経営者としての

岩泉自動車運輸(株)

代表取締役会長・社長

八重樫義一郎 氏

やえがし・ぎいちろう 1956年生まれ、岩手県岩泉町出身。慶應義塾大学経済学部卒、東京大学農学部林学科終了。85年泉金商事(株)代表取締役社長、93年泉金酒造(株)代表取締役社長、2019年岩泉自動車運輸(株)会長、23年同社長兼任。ほか岩泉町商工会会長など要職歴任。

能力も不足している状況ですが、経営を中間で指揮できる経営幹部が特に必要です。日々の業務を差配するだけではない中間層を育てること。理想は社内から人

で頑張ってもらう人も、中間でコントロールする人も、経営者としての能力も不足している状況ですが、経営を中間で指揮できる経営幹部が特に必要です。日々の業務を差配するだけではない中間層を育てること。理想は社内から人

材が湧いてくることですね。それが私どもにこれまで不足していたのかなと反省しています。今の段階から会社の生え抜き、地域の生え抜きを育成することが持続につながると思います。そうしたノウハウの構築が幹部人材の採用と合わせ、人材戦略のポイントだと思っています。

浅野 経営幹部を育て上げていく必要がありますね。

八重樫 運送会社はドライバーが大多数。個人が自ら高い意識を持たないと、弊社のような企業は回っていかないと考えます。それを形づくる中間層が必要です。

浅野 では最後に、採用で困っている、悩んでいる中小企業に、メッセージやアドバイスをお願いします。

八重樫 採用は相手あってのこと。今回はタイミングよく、地域貢献という新しい仕事に意欲的な人材と出会うこ

